



# 平成 22年 3月期 第2四半期決算短信

平成 21年 11月 5日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社**

上場取引所 大阪・東京 各第一部

コード番号 4528

(URL:<http://www.ono.co.jp/>)

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相良 暁

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役広報室長 (氏名)森本 公也

TEL (06)6263-5670

四半期報告書提出予定日 平成 21年 11月 12日 配当支払開始予定日 平成 21年 12月 1日

## 1. 平成 22年 3月期第2四半期の連結業績(平成 21年 4月 1日～平成 21年 9月 30日)

(百万円未満切捨て)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年 3月期第2四半期	67,184	1.8	22,382	8.1	24,107	7.2	15,914	14.6
21年 3月期第2四半期	65,993	—	20,711	—	22,478	—	13,883	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益		※前期は、「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき財務諸表を作成した初年度であったため、前期の対前年同四半期増減率は記載していません。
	円	銭	円	銭	
22年 3月期第2四半期	146.35		—		
21年 3月期第2四半期	125.00		—		

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭	
22年 3月期第2四半期	435,783		405,759		92.3	3,698.81	
21年 3月期	421,280		390,041		91.8	3,555.54	

(参考) 自己資本 22年 3月期第2四半期 402,194百万円 21年 3月期 386,621百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年 3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
22年 3月期	—	90.00	—	—	—
22年 3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

## 3. 平成 22年 3月期の連結業績予想(平成 21年 4月 1日～平成 22年 3月 31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	137,900	1.0	40,500	△6.8	42,900	△8.2	28,300	19.1	260.26	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年 3月期第2四半期	120,847,500株	21年 3月期	120,847,500株
--------------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

22年 3月期第2四半期	12,111,191株	21年 3月期	12,109,665株
--------------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

22年 3月期第2四半期	108,737,000株	21年 3月期第2四半期	111,070,209株
--------------	--------------	--------------	--------------

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、5ページの【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

国内医薬品業界におきましては、後発品使用促進策の進展など医療費全体の抑制を目的とした諸施策が一層浸透するなか、国内外の企業間競争が一段と激化するなど、市場環境は厳しさを増しています。

このような状況のもと、当社は独創的な新薬開発を目指し、研究開発体制の一層の強化と主要製品を中心とした学術情報活動の充実を図るとともに、経営全般にわたり効率化に努めました結果、当第2四半期累計期間の業績は以下の様になりました。

売上高	671億8千4百万円	前年同期比1.8%増
営業利益	223億8千2百万円	前年同期比8.1%増
経常利益	241億7百万円	前年同期比7.2%増
四半期純利益	159億1千4百万円	前年同期比14.6%増

・売上高 前年同期比11億円（1.8%）増の671億円

主要製品の売上ですが、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は、腰部脊柱管狭窄症の適応領域で使用拡大がさらに進み、前年同期比16億円（8.5%）増の208億円となりました。また、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は、引き続き積極的な情報提供活動に努めました結果、前年同期比5億円（4.8%）増の111億円となりました。さらに一昨年6月に発売しました過活動膀胱治療剤「ステーブラ錠」は、当該市場での育成が着実に進み前年同期比12億円増の18億円となりました。なお、本年4月に新発売しました骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」の売上は2億円でした。

一方、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」は、引き続き潜在市場の開拓活動を積極的に進めましたが、後発品の影響などにより、前年同期比4億円（5.5%）減の77億円となりました。また、気管支喘息（小児）治療剤「オノンドライシロップ」は、競合品との競争激化の影響などにより前年同期比1億円（3.5%）減の37億円となりました。

・営業利益 前年同期比16億円（8.1%）増の223億円

売上高が前年同期比11億円（1.8%）増の671億円となり、売上原価が前年同期比3億円（3.1%）減の99億円、販売費及び一般管理費が前年同期比1億円（0.5%）減の348億円となりました結果、営業利益は前年同期比16億円（8.1%）増の223億円となりました。

なお、販売費及び一般管理費のうち、研究開発費につきましては、前年同期比7億円（4.4%）増の187億円となりました。

また、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、経費の効率化に努めました結果、前年同期比9億円（5.5%）減の161億円となりました。

・経常利益 前年同期比16億円（7.2%）増の241億円

営業外収支が前年同期とほぼ同額の17億円となりましたので、経常利益は前年同期比16億円（7.2%）増の241億円となりました。

・四半期純利益 前年同期比20億円（14.6%）増の159億円

前年同期の特別損益は、特別利益として投資有価証券売却益13億円を計上した一方で、特別損失として投資有価証券評価損12億円を計上したことにより、差し引き1億円の利益でしたが、当第2四半期累計期間には、特別利益として、過年度研究開発費の戻入益2億円を計上したことなどから、利益が前年同期比1億円増加しました。

また、今期から、試験研究費の税額控除の上限が拡大されたこともあり、税金費用が前年同期比2億円減少しました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期比20億円（14.6%）増の159億円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

	当第2四半期末	前連結会計年度末	増減
総資産	4,357億8千3百万円	4,212億8千万円	145億2百万円
純資産	4,057億5千9百万円	3,900億4千1百万円	157億1千8百万円
自己資本比率	92.3%	91.8%	—
1株当たり純資産	3,698.81円	3,555.54円	143.27円

総資産は、前連結会計年度末に比べ145億円増加して4,357億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ48億円増加して1,854億円となりました。これは、現金及び預金が15億円、売上債権が55億円それぞれ減少した一方で、有価証券が82億円、たな卸資産が33億円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ96億円増加して2,503億円となりました。これは、投資有価証券が117億円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億円減少して300億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ157億円増加して4,057億円となりました。剰余金の配当金の支払97億円がありましたが、一方で、第2四半期純利益の計上159億円、その他有価証券評価差額金の増加93億円があったことなどによります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間	増減
現金及び現金同等物 期首残高	534億6千万円	474億3千3百万円	—
営業活動による キャッシュ・フロー	172億7千4百万円	150億9千6百万円	21億7千8百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	141億5千2百万円	317億7千4百万円	△176億2千2百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△97億8千6百万円	△392億2千9百万円	294億4千3百万円
換算差額	6千4百万円	△3千5百万円	9千9百万円
増減	217億5百万円	76億5百万円	—
現金及び現金同等物 四半期末残高	751億6千6百万円	550億3千9百万円	—

営業活動により獲得したキャッシュ・フローは、172億円の収入（前年同期比21億円収入の増加）となりました。主な内訳としては、法人税等の支払額93億円があった一方で、税金等調整前四半期純利益243億円を計上したことがありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、141億円の収入（前年同期比176億円収入の減少）となりました。主な内訳としては、有価証券及び投資有価証券の取得による支出があったものの、売却・償還等による収入があり、差し引き158億円の収入となったこと、有形固定資産の取得による支出12億円がありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、97億円の支出（前年同期比294億円支出の減少）となりました。主な内訳としては、配当金の支払額97億円がありました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて217億円増加し、751億円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月13日に公表しました、通期の業績予想における当期純利益について下記のとおり修正いたします。

## (1) 平成22年3月期 業績予想の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) 平成21年5月13日発表 (前年同期比)	137,900 (1.0%)	40,500 (△6.8%)	42,900 (△8.2%)	27,000 (13.6%)	248.30
今回修正予想 (B) (前年同期比)	137,900 (1.0%)	40,500 (△6.8%)	42,900 (△8.2%)	28,300 (19.1%)	260.26
増減額 (B-A)	—	—	—	1,300	—
増減率	—	—	—	4.8%	—
前年同期実績	136,556	43,471	46,752	23,766	216.07

## (2) 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益は概ね前回発表予想通りとなる見込みですが、今期から試験研究費の税額控除額の上限が拡大され税負担が減少するため、当期純利益を前回発表予想比13億円増の283億円に修正いたします。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,581	14,102
受取手形及び売掛金	33,907	39,480
有価証券	111,114	102,908
商品及び製品	8,587	5,439
仕掛品	1,253	1,194
原材料及び貯蔵品	3,571	3,424
その他	14,418	14,016
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	185,427	180,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,730	63,748
減価償却累計額	△40,203	△39,413
建物及び構築物(純額)	23,527	24,334
機械装置及び運搬具	14,624	14,612
減価償却累計額	△12,883	△12,751
機械装置及び運搬具(純額)	1,740	1,861
土地	22,539	22,539
建設仮勘定	1,674	745
その他	10,267	10,183
減価償却累計額	△9,259	△9,124
その他(純額)	1,007	1,059
有形固定資産合計	50,490	50,540
無形固定資産		
その他	1,048	1,032
無形固定資産合計	1,048	1,032
投資その他の資産		
投資有価証券	190,061	178,333
その他	8,757	10,818
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	198,817	189,150
固定資産合計	250,355	240,723
資産合計	435,783	421,280

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,248	3,423
短期借入金	1	1
未払法人税等	8,070	9,130
引当金	4,947	5,110
その他	7,530	7,794
流動負債合計	26,798	25,459
固定負債		
長期借入金	14	15
退職給付引当金	58	2,157
その他の引当金	83	82
その他	3,068	3,523
固定負債合計	3,225	5,779
負債合計	30,023	31,239
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	428,692	422,565
自己株式	△63,431	△63,425
株主資本合計	399,699	393,578
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,554	2,170
土地再評価差額金	△8,922	△8,922
為替換算調整勘定	△135	△203
評価・換算差額等合計	2,495	△6,956
少数株主持分	3,564	3,419
純資産合計	405,759	390,041
負債純資産合計	435,783	421,280

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	65,993	67,184
売上原価	10,282	9,962
売上総利益	55,711	57,221
販売費及び一般管理費		
研究開発費	17,932	18,717
その他	17,067	16,121
販売費及び一般管理費合計	35,000	34,838
営業利益	20,711	22,382
営業外収益		
受取利息	851	748
受取配当金	981	893
その他	211	241
営業外収益合計	2,044	1,883
営業外費用		
支払利息	0	0
寄付金	134	138
その他	142	19
営業外費用合計	277	158
経常利益	22,478	24,107
特別利益		
過年度研究開発費戻入益	—	238
投資有価証券売却益	1,296	—
特別利益合計	1,296	238
特別損失		
投資有価証券評価損	1,225	31
特別損失合計	1,225	31
税金等調整前四半期純利益	22,549	24,313
法人税等	8,511	8,264
少数株主利益	155	135
四半期純利益	13,883	15,914

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	22,549	24,313
減価償却費	1,460	1,388
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,769	△2,099
退職給付信託の設定額	—	5,000
受取利息及び受取配当金	△1,833	△1,641
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,296	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,225	31
売上債権の増減額(△は増加)	5,603	5,572
たな卸資産の増減額(△は増加)	△531	△3,354
仕入債務の増減額(△は減少)	36	3,012
その他	△1,861	△2,370
小計	27,121	29,852
利息及び配当金の受取額	1,957	1,784
利息の支払額	△0	△0
退職給付信託の設定による支払額	—	△5,000
法人税等の支払額	△13,982	△9,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,096	17,274
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△26,709	△21,688
有価証券の売却及び償還による収入	72,858	52,100
有形固定資産の取得による支出	△686	△1,297
投資有価証券の取得による支出	△15,723	△14,605
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,153	5
その他	△117	△360
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,774	14,152
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△26,545	△6
配当金の支払額	△12,678	△9,775
少数株主への配当金の支払額	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,229	△9,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	64
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,605	21,705
現金及び現金同等物の期首残高	47,433	53,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,039	75,166

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

セグメントの区分が「医薬品事業」単一であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

セグメントの区分が「医薬品事業」単一であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	274	1,113	72	1,461
II 連結売上高(百万円)				65,993
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	0.4	1.7	0.1	2.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……イタリア、オランダ、ドイツ等

(2) アジア……韓国、台湾

(3) その他の地域……メキシコ、アメリカ等

3 海外売上高は、当社の輸出高(特許権等使用料収入を含む)であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	286	1,325	68	1,680
II 連結売上高(百万円)				67,184
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	0.4	2.0	0.1	2.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……イタリア、ドイツ、オランダ等

(2) アジア……韓国、台湾

(3) その他の地域……メキシコ等

3 海外売上高は、当社の輸出高(特許権等使用料収入を含む)であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。